

# 平戸市デジタル技術活用による議会視聴環境整備事業仕様書

## 1. 業務名

平戸市デジタル技術活用による議会視聴環境整備事業

## 2. 納入機器

- ①議場システム一式
- ②委員会室システム一式
- ③音声認識システム一式
- ④庁内配信システム一式

(別紙「主要機器構成」及び「ブロック図」参照)

## 3. 完了報告

業務完了後、完了報告書及び完成図書を速やかに提出すること。なお、完成図書には、導入機器一覧表、構成図、操作説明書等を含めるものとし、これらについては電子データも併せて提出すること。

## 4. 不要機器、備品の撤去

機器更新に伴い、更新前の不要機器や備品がある場合は、発注者と協議の上、適正に撤去及び処分を行うものとし、その費用は本業務の範囲内に含めること。また、撤去する機器の記録装置については、発注者の職員の立会いの上、一定回数以上の上書き又は物理的破壊等の方法により、確実なデータ消去を行うこと。あわせて、撤去に伴う跡や損傷については、原状回復に努めること。

## 5. 特記事項

運用管理の詳細な実施内容については、別途協議の上、定めるものとする。

## 6. システム内容

### (1) 基本要件

- ①平戸市議会議場の音響、映像、録音・録画の機器、第1委員会室の音響、映像、録音の機器及び庁内配信の機器を更新すること。
- ②更新する機器は、新品・未使用であること。
- ③議場の電源やケーブル等の配線については、極力目立たないように配慮すること。
- ④会議録作成のため、映像・音声を長時間かつ高品質で記録できる機能を備えること。
- ⑤既存のインターネット映像配信及び庁内配信に用いる機材等の撤去や設置調整等の作業が発生する場合は、その費用を含めて計上すること。
- ⑥新たなシステムの導入に伴い、不要となる既存機器等については、適切に処理する

こと。

- ⑦各設備設置場所の改修は、極力最小限に努め、施工後は原型に戻すこと。
- ⑧機器等は、省電力、省スペースかつメンテナンスが容易であること。
- ⑨システムの操作について、専門的知識を有しない事務局職員であっても、容易に操作可能な機器及びシステムとすること。
- ⑩操作に必要な機器及び映像確認用機器は、操作する卓上に設置すること。
- ⑪操作を必要としない機器類は操作性を最大限に考慮し、必要な箇所に収容部を設けて設置すること。
- ⑫過去5年以内に、国、県又は他の地方公共団体において、本業務と同種かつ同規模以上の導入実績が複数回あること。
- ⑬議場内操作席及び議会事務局長席は、既設位置より議会事務局が指定する場所に移設すること。

## (2) 構築概要

調達する機器類については、保守性を考慮し、国内に販売及び保守拠点を有し、かつ迅速な修理対応が可能なメーカー製であること。

### ①議場システム内容

#### (ア) マイク設備

- ・有線方式のデジタル会議マイクシステムであること。
- ・会議ユニットは、議長席1台、局長席1台、質問席1台、演台1台、議員席18台、執行部席21台、予備1台の計44台とする。なお、既設のマイクケーブル用配線穴を有する席については、当該穴を塞ぐための補修プレートを設置すること。
- ・発言可能時はマイク口元のランプが点灯すること。
- ・マイクは根元と口元が曲がる2段フレキに対応していること。また、風防を有すること。
- ・マイク操作については、一元管理が可能であること。また、各個別設備での操作も可能であること。
- ・会議マイクユニットは、スピーカーを備えること。
- ・メンテナンス性を考慮してマイクは着脱可能とすること。
- ・会議ユニットには電子採決用のボタンを3個有し、後述の制御操作システムと連動した電子採決への投票機能を有すること。
- ・会議マイクユニットは、オートゲイン機能を備え、マイク音量を自動調整できること。また、個別の音量調整も可能なこと。
- ・マイクコントロールユニットには、デジタルハウリングプロセッサ、ディエッサ、ローカットフィルター、パラメトリックイコライザーの機能を備えること。
- ・マイクコントロールユニットには外部入力7系統、出力5系統以上有し、内部でマトリクスを構成できること。
- ・マイクコントロールユニットは、USB接続機器へ録音データを出力する機能を備えること。

- ・マイクの音量及び制御状態を自動で点検する機能を有すること。
- ・会議マイクの音声は、拡声設備、カメラ映像切替設備、録音設備、録画設備、庁舎内配信設備、インターネット配信設備へ送信すること。

#### (イ) 集音マイク

- ・議場内に集音マイクを2台設置し、集音した音声を直接録音できるようにすること。

#### (ウ) 録音設備

- ・録音機器は、マイク入力及び外部入力端子からの音声を録音できる機能を有すること。
- ・マイクコントロールユニットの録音以外にデジタルレコーダー1台を設置し、制御操作システムのソフトウェアにより制御できること。
- ・それぞれ32GBのメモリーカード、USBメモリーを用意すること。
- ・瞬停や停電時に録音データが消失しないよう、一定時間の電源を確保できる無停電電源装置を設置すること。

#### (エ) 拡声設備

- ・議場内のスピーカーは、議場内、傍聴席とも均一で適正な拡声ができるようにすること。
- ・上記スピーカーの設置にあたっては、音声のノイズやハウリング等が発生しないよう、音質を十分に確保すること。
- ・議場内及び傍聴席の各スピーカーについては、マイク音声のほか、外部入力端子からの音声も拡声できるものとする。

#### (オ) カメラ設備

- ・4Kインテグレートドカメラ以上のカメラを3台設置すること。
- ・SDIとHDMIを同時に出力できること。
- ・手動操作ができるよう、専用リモコンを付属させること。
- ・議場の現状照明下において、十分な撮影が可能な解像度及び画素数を有すること。

#### (カ) 録画設備

- ・業務用のハードディスク&ブルーレイレコーダーを1台設置し、制御操作システムのソフトウェアによる制御ができること。また、カメラ映像切替設備からの映像(HD-SDI)をテロップ付きで録画できること。
- ・録画映像を確認、操作できる10型程度のモニターを設置すること。
- ・瞬停や停電時に録画データが消失しないよう、一定時間の電源を確保できる無停電電源装置を設置すること。

#### (キ) カメラ映像切替設備

- ・3台のカメラ映像を、制御操作システムにより切り替えることができること。
- ・ピクチャーインピクチャー機能を有し、制御操作システムにおいて3台のカメラ映像及び外部入力端子からの映像を、親画面及び子画面として設定し、映像出力できること。

- ・カメラ映像にマイク音声を重畳し、出力できること。
- ・出力される信号は、カメラ映像に議案及び議員名のテロップを重畳し、録画機器による録画、配信機器への出力、及び庁舎内配信用機器、インターネット配信用機器への送出手続きが可能であること。

#### (ク) 議場内表示設備等

- ・議場内にフル HD 以上の解像度を有する大型モニター（65 型 2 台、50 型 1 台）を設置すること。なお、設置に当たっては壁面の強度を考慮し、適切に施工すること。
- ・議長席及び議会事務局長席へ、小型モニター（10.1 型程度）を設置すること。
- ・議員控室に議場の既設モニター（50 型 1 台）を移設すること。その際、可動式のモニタースタンドを用意して設置すること。
- ・大型モニター及び小型モニターには、議案、発言残時間、採決、カメラ映像、外部入力端子の映像を表示できるものとし、各モニターに任意の映像を割り当てて表示できること。
- ・タッチパネルとは別に映像確認モニターを設置し、カメラ映像を確認できること。

#### (ケ) マイク及びカメラ・テロップ等の制御操作システム

- ・制御操作システムは、マイク、カメラ及びテロップを連動させ、1 名で操作可能であること。
- ・パソコンの OS は Windows11 Pro 以上であること。
- ・インターネット等の外部接続はしないこと。
- ・操作端末は、21.5 インチ程度の液晶タッチパネル方式とし、マウス及びキーボードによる操作も可能であること。
- ・座席レイアウトを表示したボタンを操作することで、マイク、カメラ及びテロップが連動して動作すること。
- ・同時発言者数は、議長及び演壇を含め、最大 10 名とすること。
- ・カメラのパン・チルト・ズームの操作、プリセットの呼び出し（5 つ以上）ができること。
- ・開会操作と同時に録音及び録画を開始し、終了操作と同時に録音及び録画を停止すること。
- ・録音・録画機器の記録容量が少なくなった場合は、警告を表示すること。
- ・テロップ機能は、議員氏名及び執行部役職・職員氏名をあらかじめ登録し、マイクとカメラに連動したボタン操作を行うことで、映像として表示できること。
- ・議員氏名及び執行部役職・職員氏名以外に、議案のテロップ表示ができること。
- ・テロップ内容は、操作する職員が随時、簡単な操作で登録・変更・追加ができること。なお、文字は、JIS 第 2 水準及び外字に対応すること。
- ・議員及び執行部の人的データ、議場内表示用の議案データ並びにメッセージデータについては、テキスト形式又は CSV 形式により、インポート及びエクスポートが可能であること。

- ・制御操作画面及び議場内表示設備に表示される議案、発言残時間及び現在時刻については、カラーユニバーサルデザイン認証を受けた配色とすること。
- ・開会ブザーを場内のスピーカーから鳴らすことができること。
- ・開会前、休憩中、閉会後は、議会中継以外の映像を送出できること。
- ・マイク点検機能、システム点検機能を有し、ログを出力できること。
- ・映像確認モニターを事務局職員席に設置すること。
- ・一般質問の残時間の管理ができること。

#### (一般質問の残時間表示)

- ・全体の残り時間（60分のカウントダウン）については、「残●●分」と常時表示すること。なお、残り時間が1分を切った場合は、自動的に秒単位の表示に切り替えること。また、55分、60分が経過した時点で自動的にブザー音を鳴らすこと。
- ・瞬停や停電に備え、無停電電源装置を設置すること。

#### (コ) 配信用機器への出力設備

議場の映像及び音声は、インターネット配信及び庁内配信機器へ出力できるものとする。なお、出力内容については、配信機器の設置業者と協議すること。また、出力先の機器等の設定変更に係る費用は、本業務の範囲に含むこと。

#### ○インターネット配信事業者

(株) ジェイ・フィット TEL 092-436-8526

#### (サ) 既設再利用機器

以下の機器については既設機器を継続使用できるよう考慮すること。

- ・議場内有線マイク（イベント用）及び接続するマイクコンセント・ミキサー
- ・傍聴席用ラインアレイスピーカー及び接続するアンプ
- ・議場入口にある表示灯「会議中」

### ②委員会室システム

#### (ア) マイク設備

- ・ワイヤレスデジタルマイクシステムであること。
- ・最大10名が同時に発言できるよう、必要なチューナーユニットを用意すること。
- ・ワイヤレスマイクロホン10本と同時に充電するために必要なチャージャーを用意すること。
- ・メンテナンス性を考慮して、国内メーカー製のマイクシステムであること。

#### (イ) カメラ設備

- ・HD固定カメラ及びカメラレンズ1台設置すること。

#### (ウ) 録音設備

- ・マイク音声の録音用として、音声レコーダー1台を設置すること。

#### (エ) 拡声設備

- ・天井スピーカーを2台設置すること。
- ・上記スピーカー用のアンプを更新するとともに、音声のノイズ、ハウリング等が

起きないように音質に十分配慮すること。

#### (オ) その他構築

- ・第1委員会室の映像・音声信号を議場まで送出すること。また、議場システムで設置される入力切替装置で議場と第1委員会室の映像・音声信号の入力切替ができること。
- ・開会前、休憩中、閉会後は、議会中継以外の映像を送出できるよう BD/DVD プレイヤーを設置すること。
- ・議場内に設置する音声認識用パソコンは、第1委員会室でも運用が可能なこと。また、ビデオスイッチャーに接続することで、カメラ映像と字幕を合成でき、配信ができること。配信映像は議場内の SDI スイッチャーで任意で議場と第1委員会室と切替操作ができること。
- ・市長室及び副市長室のテレビで視聴ができるように既設の同軸ケーブルに対して、出力を用意すること。

#### ③音声認識システム

- ・音声認識用パソコンの OS は Windows11 Pro 以上であること。
- ・音声認識エンジンは、AmiVoice を使用すること。
- ・文字のみの表示及び映像と、カメラ映像と字幕を合成した表示の2パターンの出力機能を有すること。
- ・文字のみの表示は、縦／横表示選択できること。
- ・カラーユニバーサルデザイン認証を取得した表示色パターンを採用し、表示画面のカラーパターンを容易に変更できること。
- ・インポート、エクスポート機能を有する辞書登録機能が搭載されていること。また、納品時には、議会事務局において一般的に使用される用語が登録されていること。
- ・音声認識中に辞書登録ができること。
- ・表示させたくない単語を登録する機能を備えていること。
- ・議場システム制御ソフトウェアと連動可能であること。また、会議の開始・停止に連動して、音声認識の開始・停止が制御される仕様であること。
- ・認識結果をテキストデータとして保存、エクスポート可能なこと。
- ・表示画面上に注釈表示ができること。
- ・表示する文字のフォントは、3種類以上から選択できること。
- ・セキュリティの観点から、音声認識処理においてインターネット接続を必要としないエンジンであること。
- ・全画面表示（フルスクリーン）に切り替えた場合においても、音声認識による文字表示が可能であること。

#### ④庁内配信システム一式

##### (ア) 配信機器

- ・議場操作室にライブエンコーダなど必要な機器を設置し、職員パソコン端末及び

発注者が指定するテレビ及びモニターで議会中継をリアルタイムで視聴できるようにすること。

- ・入力インターフェースは SDI とする。
- ・職員パソコン端末で視聴した場合、同時に 140 台まで視聴できること（2Mbps で配信した場合）。
- ・配信に係るビットレートは議会事務局と協議のうえ、決定すること。
- ・庁内ネットワークに接続に必要な情報及び環境は発注者が提供する。

#### **(イ) 受信機器**

- ・職員パソコン端末で視聴する場合、専用ソフトウェアをインストールすることなく一般的なブラウザで視聴ができること。
- ・発注者が指定する TV にセットトップボックスを設置し、視聴を可能にすること。  
TV の設置場所は以下の 7 か所とする。

1. 平戸市役所本庁ロビー
2. 平戸市役所生月支所
3. 平戸市役所田平支所
4. 平戸市役所大島支所
5. 平戸市役所中部出張所
6. 平戸市役所南部出張所
7. 度島診療所

## **7. 保守・保証**

### **(1) 保守等期間**

- ・引き渡しの日から起算して 5 年間は、運用支援、保守、並びに機器及びシステムの障害対応を行うこと。なお、保守費用については、別途契約を締結するものとする。
- ・引渡しの日から起算して 1 年以内に生じた調整不良及び故障であって、受注者の責めに帰すべきものについては、受注者は直ちに無償修理又は代替品の設置を行うこと。
- ・保証期間を経過した場合でも、その原因が受注者の責めに帰すべき事由による場合は、受注者は無償で修理を行わなければならない。ただし、当該原因が受注者の責めに帰すべき事由によるものでないと認められる場合は、発注者と協議するものとする。

### **(2) 運用支援・保守・障害対応**

- ・年 1 回、休会中に現地で定期点検を実施すること。ただし、定期保守点検については保守契約締結を条件とする。
- ・システム及び機器の故障発生時においては、速やかに復旧作業を行うこと。なお、設置場所での復旧が困難な場合は、代替機の設置等を行い、システム運用に支障

をきたさないよう措置すること。

- ・運用支援、保守、及び機器やシステム障害発生時の担当者・連絡先等を記載した体制図を提出すること。また、体制図の内容に変更が生じた場合は、速やかに修正のうえ、発注者へ提出すること。
- ・停電や機器故障等の非常時においても、必要最小限の対応が可能な機器であること。

## **8. 操作研修及び運用**

- ・更新完了後、操作マニュアルを作成し提出すること。
- ・運用開始に先立ち、事務局職員に対し、操作方法について説明を行うこと。
- ・システム導入後の初回本会議においては、システム操作に精通した者を立ち合わせる。

## **9. 仕様書の疑義等**

本仕様書の内容について、疑義が生じた場合または記載に不足がある場合には、担当者と協議のうえその内容を明確化するものとする。なお、受託者は自己の判断のみによって解釈してはならない。

別紙「主要機器構成」

型番は参考型番とし、同等以上の性能を有するものとする。

※機器構成については、仕様書にある目的を達成できる機器であること。

	機器	数量	式	仕様
①議場システム				
	ターミナルユニット (PM-T51)	44	台	操作ボタン：発言ボタン、セレクトボタン、-ボタン、 +ボタン（投票機能あり） モニター：0.1W 以上 イヤホン端子×2、録音端子×1 国内メーカー製
	グースネックマイクロホン (ロング) (PM-TA5L)	44	台	マイク：バックエレクトレットコンデンサー型、単一 指向性、ランプ付 マイク感度：-40 dB マイク長さ：500mm 以上 国内メーカー製
	補修プレート	必要 枚数	式	現行の会議ユニット撤去後の補修ができること。
	コントロールユニット (PM-M550)	1	台	会議マイクユニットを制御できること。 デジタルプロセッサ内蔵（ハウリングサプレッサー、 ディエッサー、ローカットフィルター、パラメトリック クイコライザー、スペクトラムアナライザー）、自動 マイク・スピーカー点検機能内蔵。 ラックマウント式とする。 SD カード、USB メモリへ録音可能とすること。
	SD カード	1	枚	容量：32GB
	USB メモリー	1	台	容量：32GB
拡声設備				
	デジタルパワーアンプ (PS-DA604)	1	台	定格出力：4 チャンネル：60W×4 (1kHz、4Ω) 30W×4 (1kHz、8Ω) 2 チャンネル：120W×2 (1kHz、8Ω) 周波数特性：20Hz～20kHz±1 dB (8Ω、1W 出力時) 増幅方式：D 級増幅方式 S/N：90 dB TYP (IHF - A、入力短絡) ラックマウント式とする。
	マルチプロセッサ (DriveRack260)	1	台	コンプレッサ、リミッタを搭載し、8 バンド以上のパ ラメトリック EQ、31 バンド以上のグラフィック EQ 機 能搭載していること。

				音声入力：2ch 以上 音声出力：6ch 以上 周波数特性：20Hz～20kHz
	音声分配器 (DA6)	1	式	ステレオ入力（バランス）を 6 系統のステレオ出力（バランス）に分配、またはモノラル入力（バランス）を 12 系統のモノラル出力（バランス）に分配できること。
	ジャンクションボックス (PM-X50)	必要数	台	会議ライン入力：1 系統 会議ライン出力：2+1 系統（幹線） 電源ユニットも用意すること。
	システムラック	2	式	操作架を新設し、主電源ユニットを有すること。
カメラ設備				
	4K インテグレートドカメラ (AW-UE50)	3	台	撮像素子：1/2.5 型 4K MOS×1 レンズ：光学 24 倍ズーム、F1.8～F4.0 最低被写体照度：3lx 出力：SDI、HDMI 専用金具により設置できること。
	リモートカメラコントローラー (AW-RP60GJ)	1	式	リモートカメラ制御：カメラ接続数 200 台、プリセットメモリー数 100 個 ジョイスティック付であること。
カメラ映像切替設備				
	HD ビデオ・スイッチャー (V-80HD)	1	台	マルチビューディスプレイ機能、ピクチャーインピクチャー機能を搭載していること。 オーディオエフェクト機能(EQ、ディレイ、HPF) を搭載しており、本体でオーディオエンベデッドが可能なこと。 映像エフェクト機能(切り替え、合成、DSK、静止画再生、静止画キャプチャー、テストパターン出力) を搭載していること。
	タイトルジェネレーター (STG-101)	1	台	タイトルは 10 行固定表示または 1 行水平スクロール移動表示ができること。 文字は JIS 第一、第二水準+拡張文字の 7,324 文字より選択できること。 最長 28 文字×10 行×512 ページのタイトルをプリセットできること。 4 種類の文字サイズを選択できること。 ラックマウント式とする。

場内表示設備				
	場内表示モニター (65型) (PN-HW652)	2	台	最大解像度：3,820×2,160 ドット 最大表示色：約 10,7 億色 輝度 (標準値)：350cd/m <sup>2</sup> コントラスト (標準値)：4,000：1 視野角：左右 178° /上下 178° (コントラスト比≧10)
	場内表示モニター (50型) (PN-HW502)	1	台	最大解像度：3,820×2,160 ドット 最大表示色：約 10,7 億色 輝度 (標準値)：350cd/m <sup>2</sup> コントラスト (標準値)：4,000：1 視野角：左右 178° /上下 178° (コントラスト比≧10)
	議長席・局長席モニター (10.1型) (LCD1015)	2	台	パネル方式：IPS パネル 最大解像度：1,920×1,200 ドット 入力端子：HDMI/VGA/ビデオ/音声 HDCP 対応
	傍聴席モニター (43型) (PN-HW432)	1	台	最大解像度：3,820×2,160 ドット 最大表示色：約 10,7 億色 輝度 (標準値)：350cd/m <sup>2</sup> コントラスト (標準値)：1,200:1 視野角：左右 178° /上下 178° (コントラスト比≧10)
場内映像切替設備				
	マトリクススイッチャー (FDX-S08U)	1	台	8 入力 8 出力 映像入力信号 HDMI：4 系統 HDBaseT：4 系統 HDCP1.4 スキャンコンバーター搭載
録音・録画設備				
	SD レコーダー (SS-R250N)	2	台	録音・再生メディア：SD カード、USB 録音・再生フォーマット：WAV、MP3 ラックマウント式とする。
	SD カード	2	枚	容量：32GB
	USB メモリー	2	台	容量：32GB
	BD/HDD レコーダー	1	台	HDD 容量：4,0TB 以上

	(DMR-T5000UR)			外部制御が可能なこと。 ラックマウント式とする。
マイク及びカメラの制御操作システム				
	マイク・カメラ制御用パソコン (ESPRIMO)	1	台	OS：Windows11 Pro 以上であること。 CPU：インテル® Core™ i5 プロセッサ以上 メモリー：8GB 以上 SSD：256GB 以上 拡張スロット：PCI Express x1 以上 PCI スロットサイズ：ロープファイル
	タッチパネルモニター (FDF2121WT-ABK)	1	台	画面サイズ：21.5 インチ以上 超音波表面弾性波 (SAW) 方式
	制御ソフトウェア (TZ-PM5003VC)	1	式	会議マイクメーカー製ソフトウェアであること。 必要ライセンスを含むこと。 (場内表示、カメラキャプチャ、投票など)
	事務局席映像確認モニター (EV2130-BK)	1	台	パネル方式：IPS (アンチグレア) 推奨解像度：1920×1080 (アスペクト比 16：9) 表示色：約 1677 万色：8-bit 対応 視野角度：上下：178° 左右：178°
②音声認識システム				
	音声認識表示パソコン (ESPRIMO)	1	台	OS：Windows11 Pro 以上であること。 CPU：インテル® Core™ i5 プロセッサ以上 メモリー：8GB 以上 SSD：256GB 以上 ディスプレイ出力：DisplayPort×1、HDMI×2
	音声認識表示ソフトウェア (TZ-TRACER)	1	式	単語登録、禁止用語登録機能 認識結果のテキスト保存機能 ふりがな付与機能 文字サイズ、表示カラー選択機能 カラーユニバーサルデザイン認証 1年分の必要ライセンス
	オーディオインターフェース (Rubix22)	1	式	接続端子：INPUT (1L、2R) OUTPUT (1L、2R) インターフェース：Hi-Speed USB
	ビデオスイッチャー (V-1HD+)	1	台	接続端子：INPUT×4 (HDMI) OUTPUT×2 (HDMI)
	SDI スwitchャー (HS-U42)	2	台	入力：BNC 4 系統 出力：BNC 2 系統 2 分配

	無停電電源装置 (BY50FW)	1	台	<p>運転方式:ラインインタラクティブ方式</p> <p>波形(商用/バックアップ):正弦波/正弦波</p> <p>バックアップ時間:5.5分以上</p> <p>最大電流:7.5A 以上</p>
③第1委員会室システム				
マイク設備				
	ラックマウントデジタル ミキサー (MX-D1606)	1	台	<p>12 (8モノラル・4ステレオ) 入力、4 (2モノラル/ ステレオ・2モノラル) 出力のアナログ音声入出力マ トリクスが可能</p> <p>2入力/2出力のUSB オーディオインターフェース機 能を搭載</p>
	デジタルパワーアンプ (PS-DA604)	1	台	<p>定格出力:4チャンネル:60W×4 (1kHz、4Ω)、30W× 4 (1kHz、8Ω)</p> <p>2チャンネル:120W×2 (1kHz、8Ω)</p>
	デジタルワイヤレスチュ ーナー (WT-1014D)	2	台	806.125~809.750MHz 間の 30 波から 2 波を選択 (最大 4 波)
	デジタルワイヤレスチュ ーナー (WT-1012D)	1	台	806.125~809.750MHz 間の 30 波から 1 波を選択 (最大 2 波)
	デジタルワイヤレスチュ ーナーユニット (WT-1003D)	5	個	WT-1012D、WT-1014D 用チューナーユニット
	アンテナミキサー (WT-D89)	2	台	3入力混合2分配出力機能を2系統装備。 アンテナ6台(α・β各3台)、チューナー2台のシ ステム構成が可能
	デジタルワイヤレスマイ ク (WM-P1070D)	10	本	<p>周波数帯:800MHz</p> <p>空中線電力:5mW/1mW 2段階切替式</p> <p>マイクロホン型式:単一指向性エレクトレットコンデ ンサー型</p> <p>電源(使用電池):DC1.5V(単三乾電池x1本)または、 DC1.2V(別売専用充電式電池x1本)</p>
	マイクバッテリー (QAB0093-002)	10	本	<p>WT-C63(充電器)付属充電電池</p> <p>対応機種:WM-P1070D、WM-P1080D、WM-P902、WM-P970、 WM-P980、WM-P772</p>
	ワイヤレスマイク用充電 器	5	台	適合機種:アナログ WM-P970、WM-P902、WM-P980、 WM-P772

	(WT-C63)			デジタル WM-P1070D、WM-P1080D 電源・消費電力：本体：DC6V 1.2A 専用 AC アダプター：AC100V、50Hz/60Hz 出力：DC2.7V、170mA(2回路)
カメラ設備				
	監視用高感度フル HD カラーカメラ (ISD-240HD)	1	台	フル HD 対応 1/2.8 型 CMOS センサを採用 感度は電子感度アップ機能に加え、デイナイト機能も搭載し、従来モデルよりさらに高精細、高感度化を実現
	監視カメラ用レンズ (M13VG28131R)	1	個	標準画角 イメージャーサイズ：1/2.7” 焦点距離：2.8-13mm 絞り範囲：F/1.4-360 アイリス：DC オートアイリス
その他構築				
	シーリングスピーカー (PS-S212)	2	個	定格入力 3W (3.3kΩ)、5W (2kΩ)、 15W (670Ω)、40W (8Ω、RMS) 出力音圧レベル 91dB/W (1m)
	ワイヤレスアンテナ (WT-Q840)	2	個	簡単設置のスプリングキャッチ方式採用。 混信・妨害ノイズを低減するエリア設定スイッチ内蔵
その他構築				
	業務用ブルーレイ/SD/USB プレイヤー (BD-MP1)	1	台	ディスクメディア ブルーレイブルーレイ：BD25、BD50、BD-ROM、BD-R、 BD-RE DVD：DVD-ROM、DVD-R、DVD+R、DVD+RW CD：CD-DA、CD-R、CD-RW
	ビデオスイッチャー (V-1HD+)	1	台	接続端子：INPUT×4 (HDMI) OUTPUT×2 (HDMI)
	音声分配器 (DA6)	1	台	ステレオ入力 (バランス) を 6 系統のステレオ出力 (バランス) に分配、またはモノラル入力 (バランス) を 12 系統のモノラル出力 (バランス) に分配できる こと。
	オーディオインターフェ ース (Rubix22)	1	台	接続端子：INPUT (1L, 2R) OUTPUT (1L, 2R) インターフェース：Hi-Speed USB
	HDMI - SDI 変換器 (CRO-H2SC)	2	台	入力：BNC SDI 出力：HDMI/DVI

	SDI - HDMI 変換器 (CR0-SHC5)	1	台	入力：BNC SDI 出力：HDMI/DVI
④庁内配信システム				
配信機器				
	2ch 対応オールインワン ストリーミングエンコー ダー (SC6D0N1 A10)	1	台	最大 1920×1080 50/60 fps まで対応 最少 160×120 までのまでダウンスケーリング機能内 蔵最少 160×120 までのまでダウンスケーリング機能 内蔵 入力 1×2 種類、入力 2×2 種類、PGM×2 種類 リアルタイムハードウェアエンコード
	ライブサーバーボックス (Live Server Box150)	1	台	RTMP (RealTime Messaging Protocol) HLS (HTTP Live Streaming) MEDIAEDGE Encoder K1000H から RTMP(2Mbps) 1 本を 受信時、140 クライアント RTMP(4Mbps) 1 本を受信時、70 クライアント
	エンコーダー (SC6G0N1 HDMI2.0)	1	台	入力：ビデオ HDMI2.0×1 音声 3.5mm ステレオアナログオーディオ×1 出力：ビデオ HDMI2.0×1 USB3.0 タイプ A(UVC)出力(前面パネル内)×1 音声 3.5mm ステレオアナログオーディオ×1
受信機器				
	デコーダー (SC6G0N1 HDMI2.0)	7	台	入力：ビデオ HDMI2.0×1 音声 3.5mm ステレオアナログオーディオ×1 出力：ビデオ HDMI2.0×1 USB3.0 タイプ A(UVC)出力(前面パネル内)×1 音声 3.5mm ステレオアナログオーディオ×1



